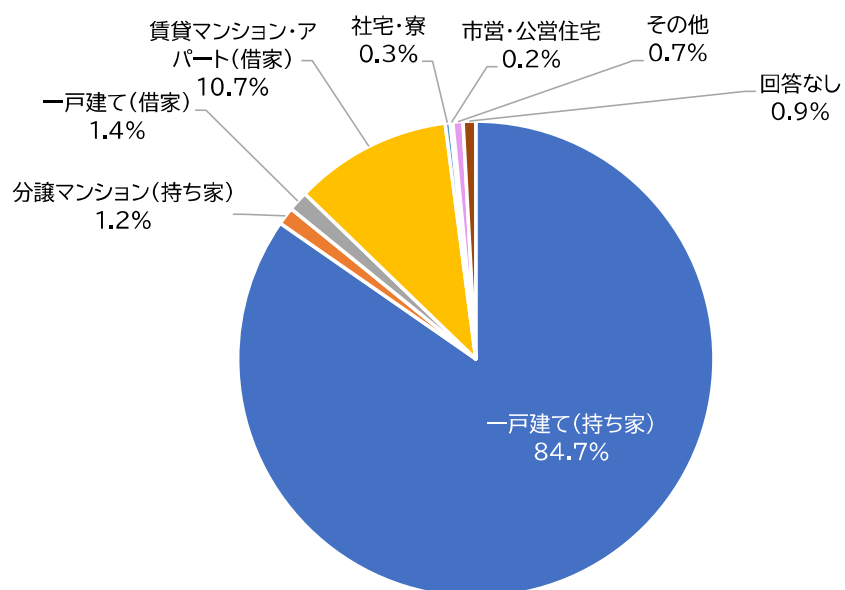
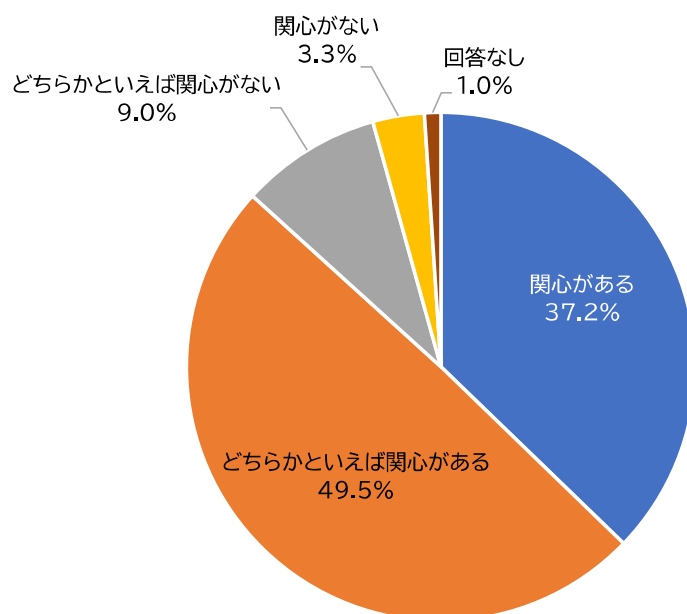


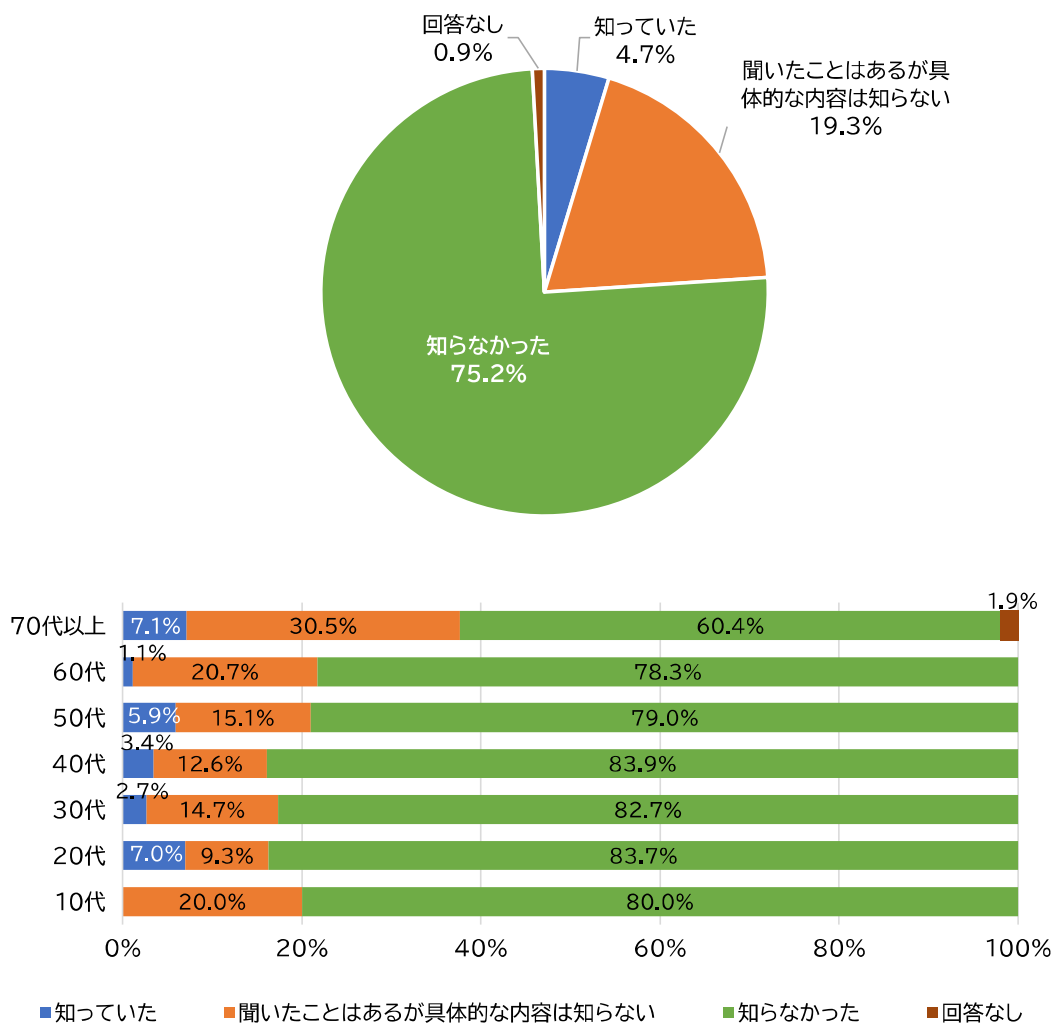
④ 住居形態



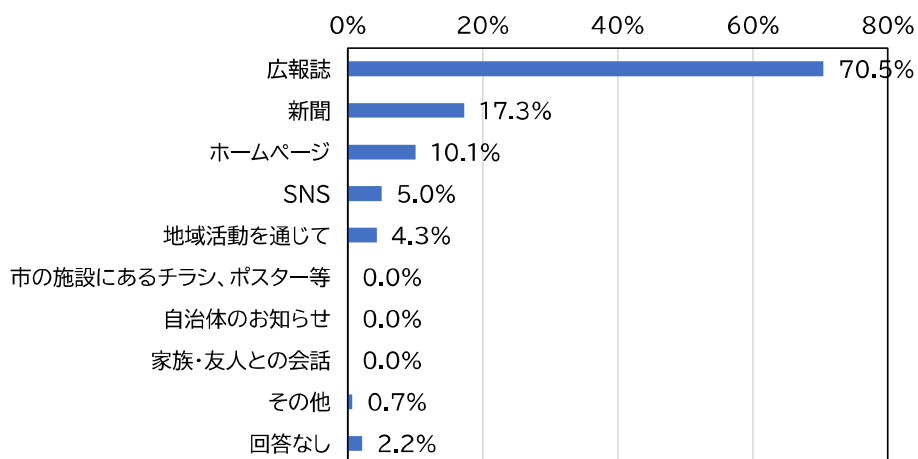
【質問2】あなたは地球温暖化の問題に関心がありますか。(n=580)



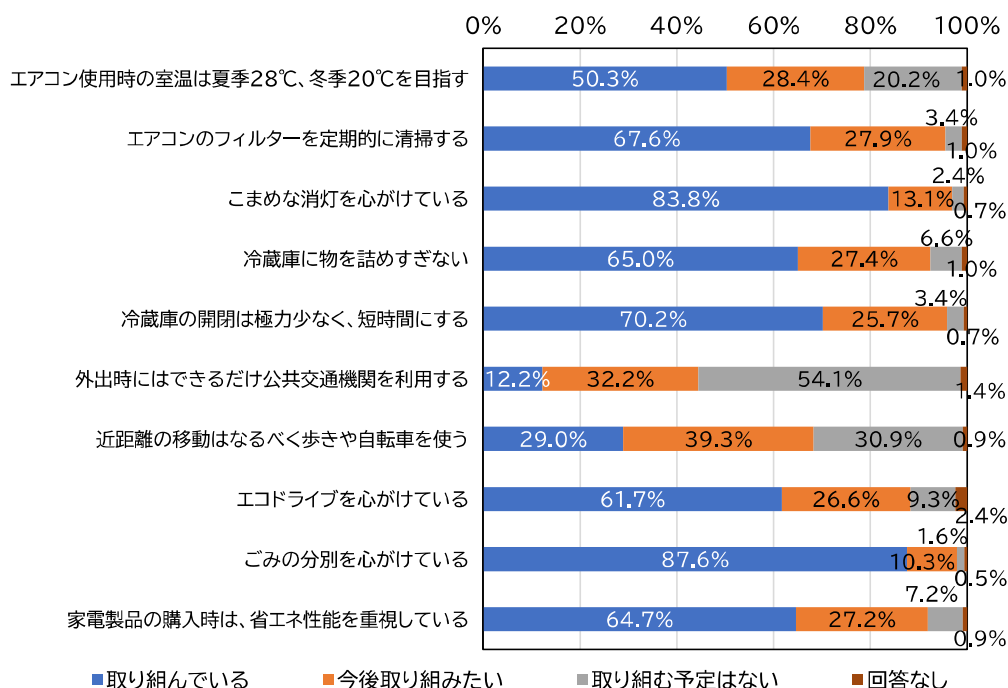
【質問3】あなたは瑞穂市が「ゼロカーボンシティ宣言」を行っていることを知っていましたか。(n=580)



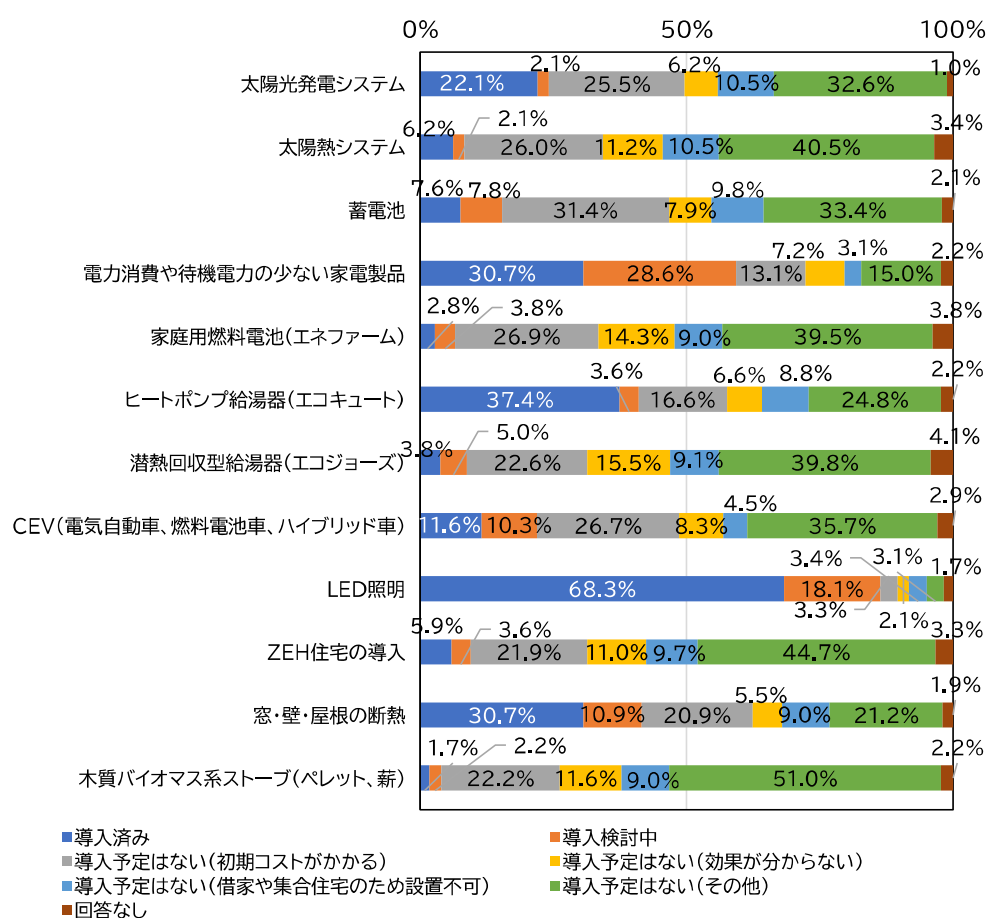
【質問3・追加質問】「ゼロカーボンシティ宣言」についてどこで知りましたか。(複数回答可) (n=139)
 ※質問3で「知っていた」もしくは「聞いたことはあるが具体的な内容は知らない」と回答した方のみ



【質問4】あなたは次の環境に配慮した取組を行っていますか。(n=580)

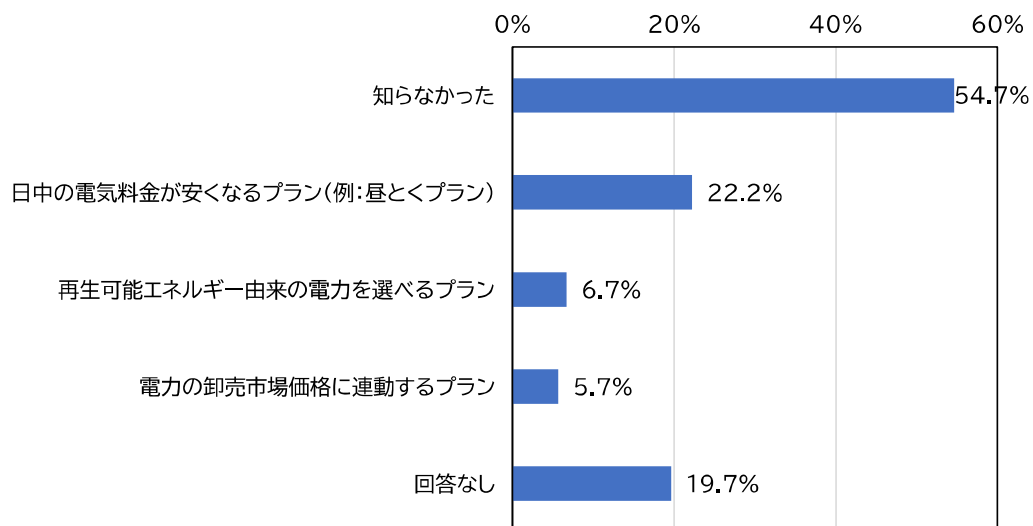


【質問5】あなたは次のような再生可能エネルギー・省エネルギー設備等を導入していますか。(n=580)

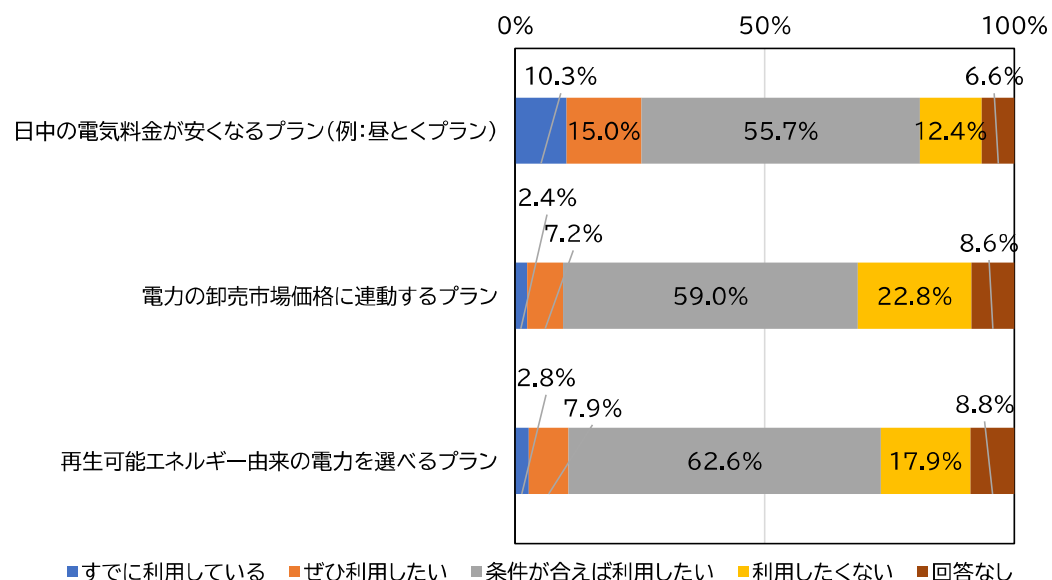


【質問6】エネルギー使用量のサンプル収集のための設問のため省略

【質問7-1】現在、小売電気事業者が再生可能エネルギーによって創出された電力を供給する「再エネ電気プラン」や日中の電力が安くなる電気料金プランを販売しています。このような電力プランを知っていますか。(n=580)

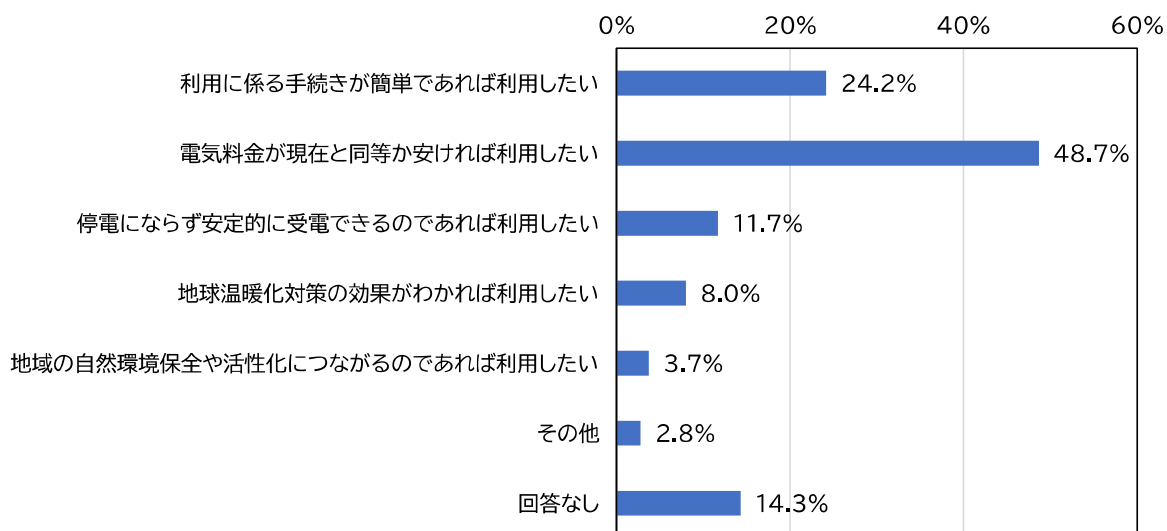


【質問7-2】あなたは質問 7-1 で挙げたようなプランを利用したいと思いますか。(n=580)

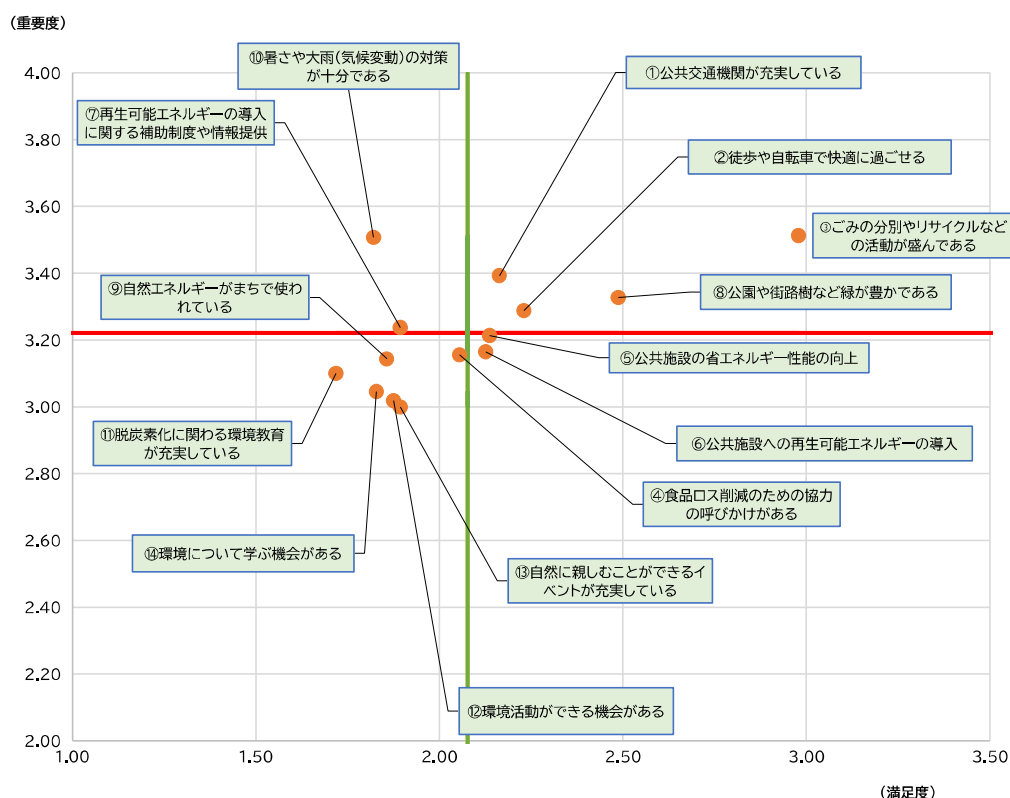


【質問7-3】どのような条件があれば利用したいと思いますか。(n=538)

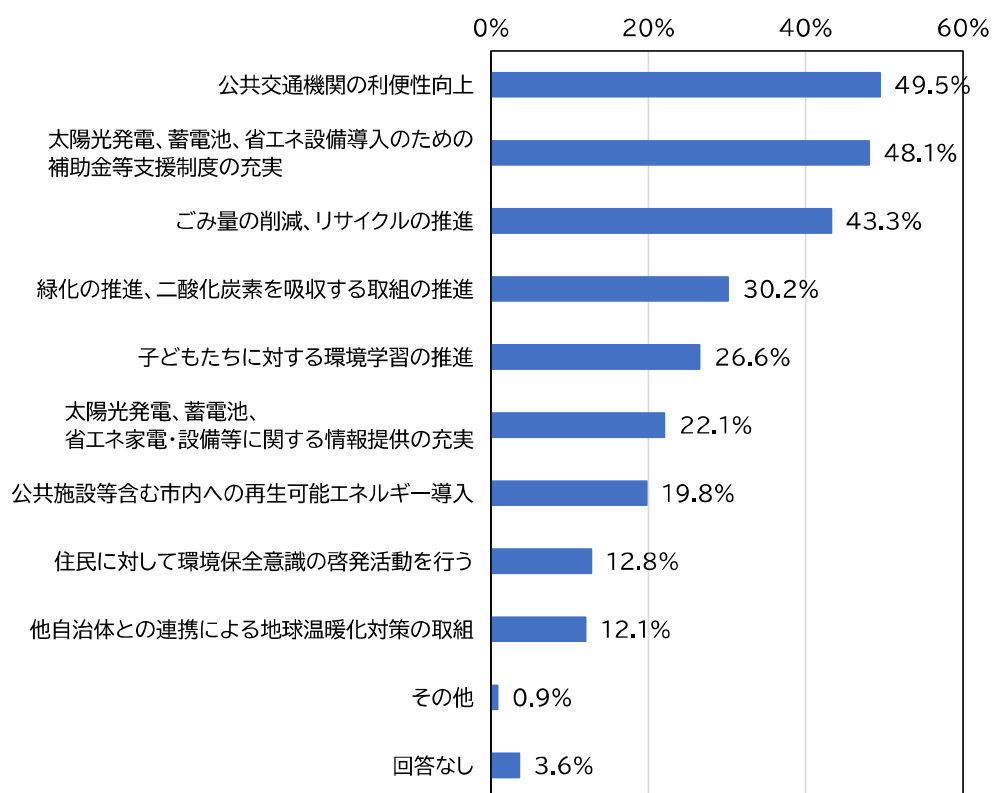
※質問 7-2 で「条件が合えば利用したい」もしくは「利用したくない」と回答した方のみ。複数選択が多く見られたため、複数選択を可として分析した。



【質問8】あなたは瑞穂市の環境に関する各項目について、日ごろどのように感じていますか。(n=580)



【質問9】地球温暖化の原因となる二酸化炭素を削減するための取組として、重要と考える取組は何ですか。(3つまで回答可) (n=580)



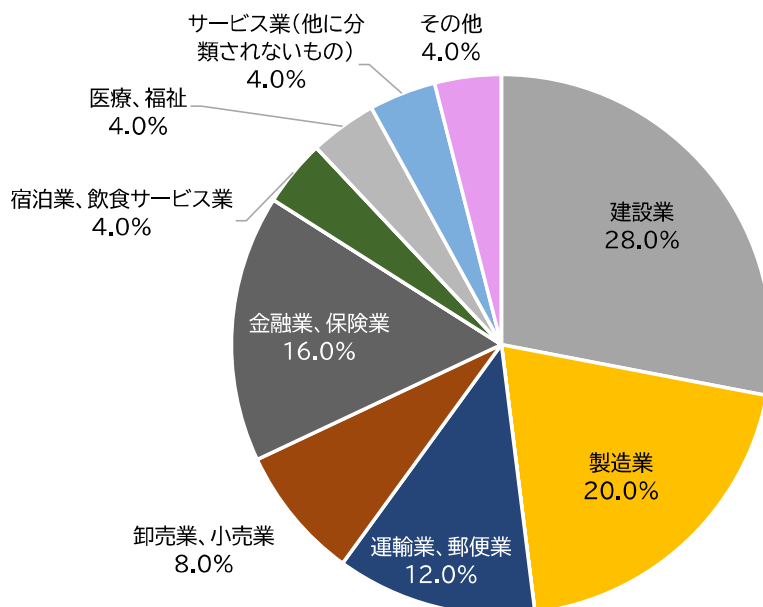
【質問10】あなたは将来の市の環境がどのような状態であることを望みますか。「瑞穂市の環境の理想像」を短い言葉で表してください。例：みどり豊かで住みやすい街、自然災害に強く安心な街。

市民が思い描く「瑞穂市の理想の環境」は、自然災害に強く安心して暮らせるまちを最も重視しつつ、緑豊かで自然と共生する環境を求める声が多く寄せられた。また、住みやすさや利便性（特に公共交通）の確保、脱炭素・環境配慮への期待、清潔で美しい環境づくりも強調されている。

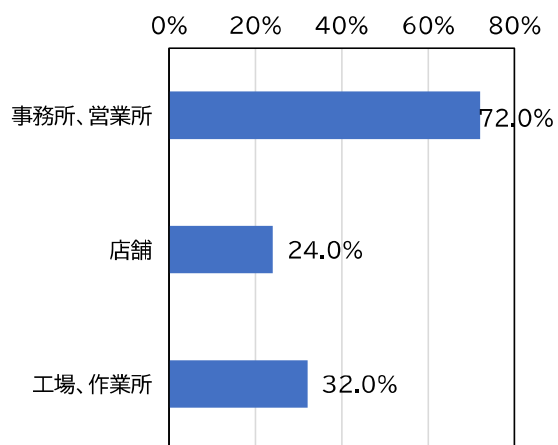
事業者アンケート結果

【質問1】貴組織について、該当するものを選択してください。(n=25)

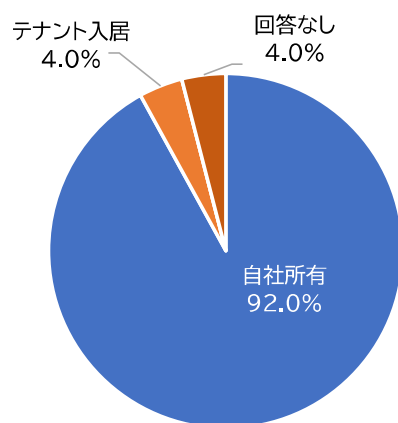
① 業種



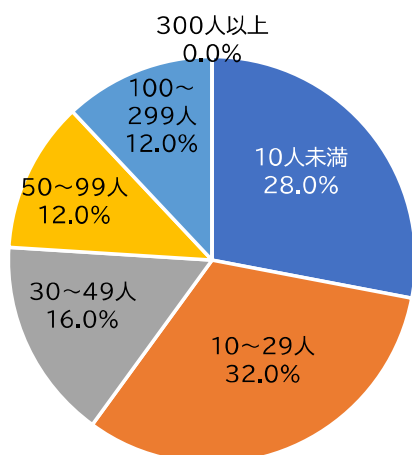
② 事業所の形態



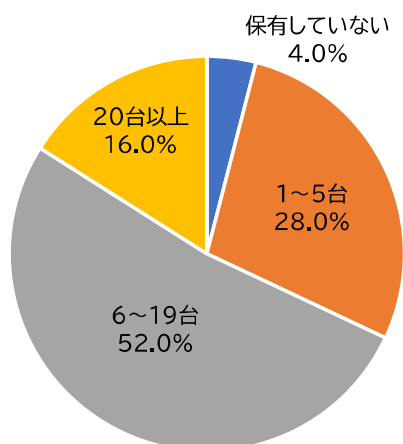
③ 入居形態



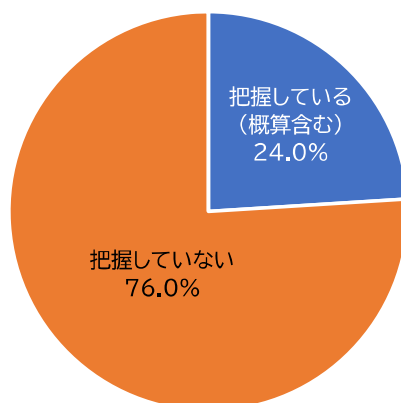
④ 従業員数



⑤ 業務自動車の保有台数



【質問2】貴事業所では、温室効果ガス排出量の把握をしていますか。(n=25)

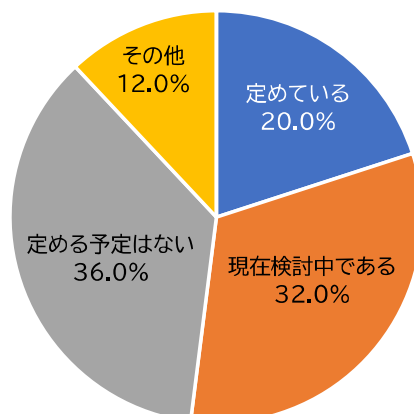


【追加質問】把握している場合、直近の排出量をお答えください。(n=6)

【回答】(単位はt-CO₂)

- ・従業員数 50 人(製造業):2,606
- ・従業員数 46 人(金融業、保険業):33
- ・従業員数 46 人(金融業、保険業):14
- ・従業員数 180 人(製造業):8,037
- ・従業員数 20 人(卸売業、小売業):220.038
- ・従業員数 7 人(製造業):22

【質問3】貴組織では、温室効果ガス排出量の削減に向けて、削減目標や方針を定めていますか。(n=25)



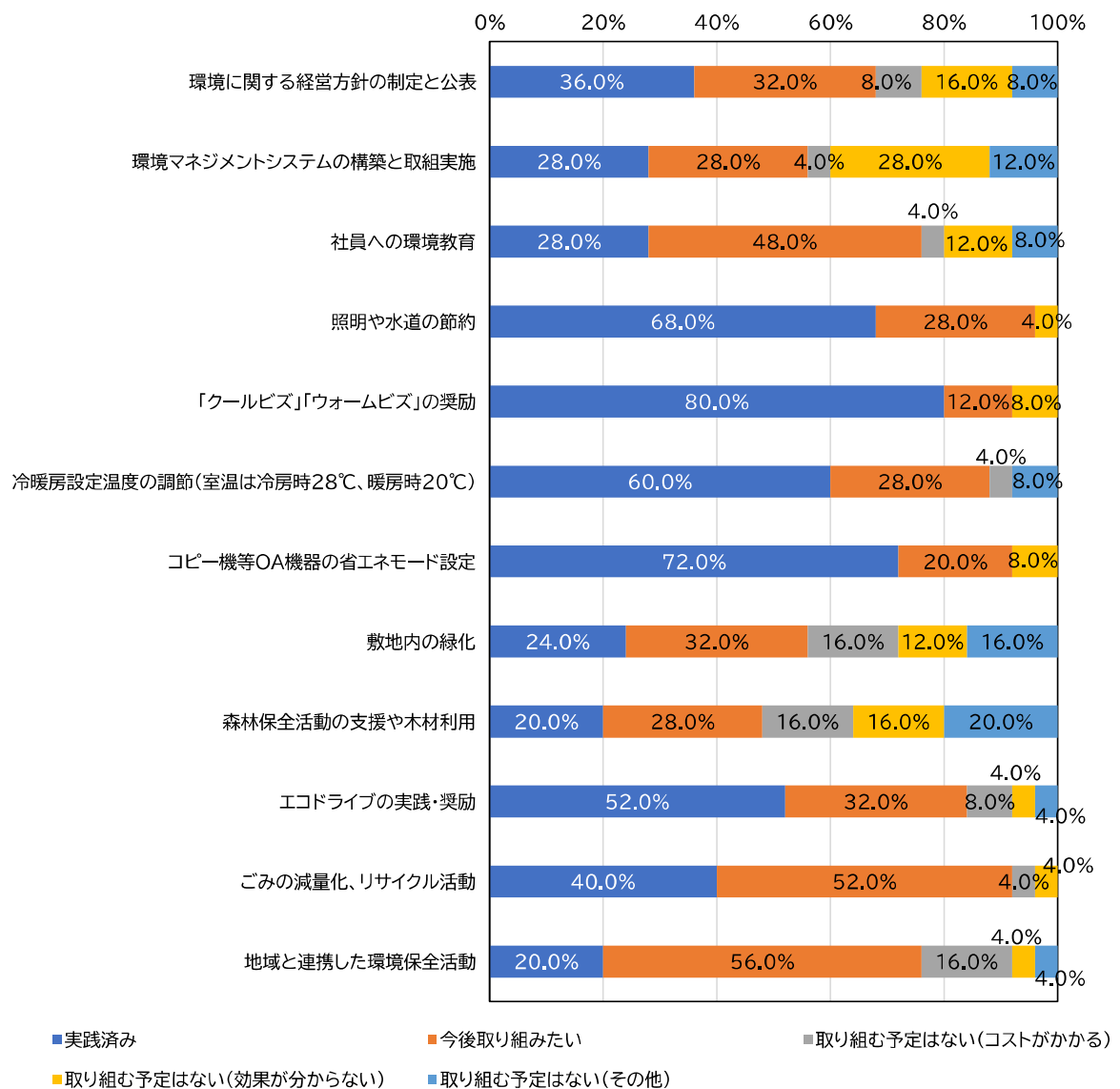
【追加質問】目標や方針をご回答ください。(n=6)

【回答】

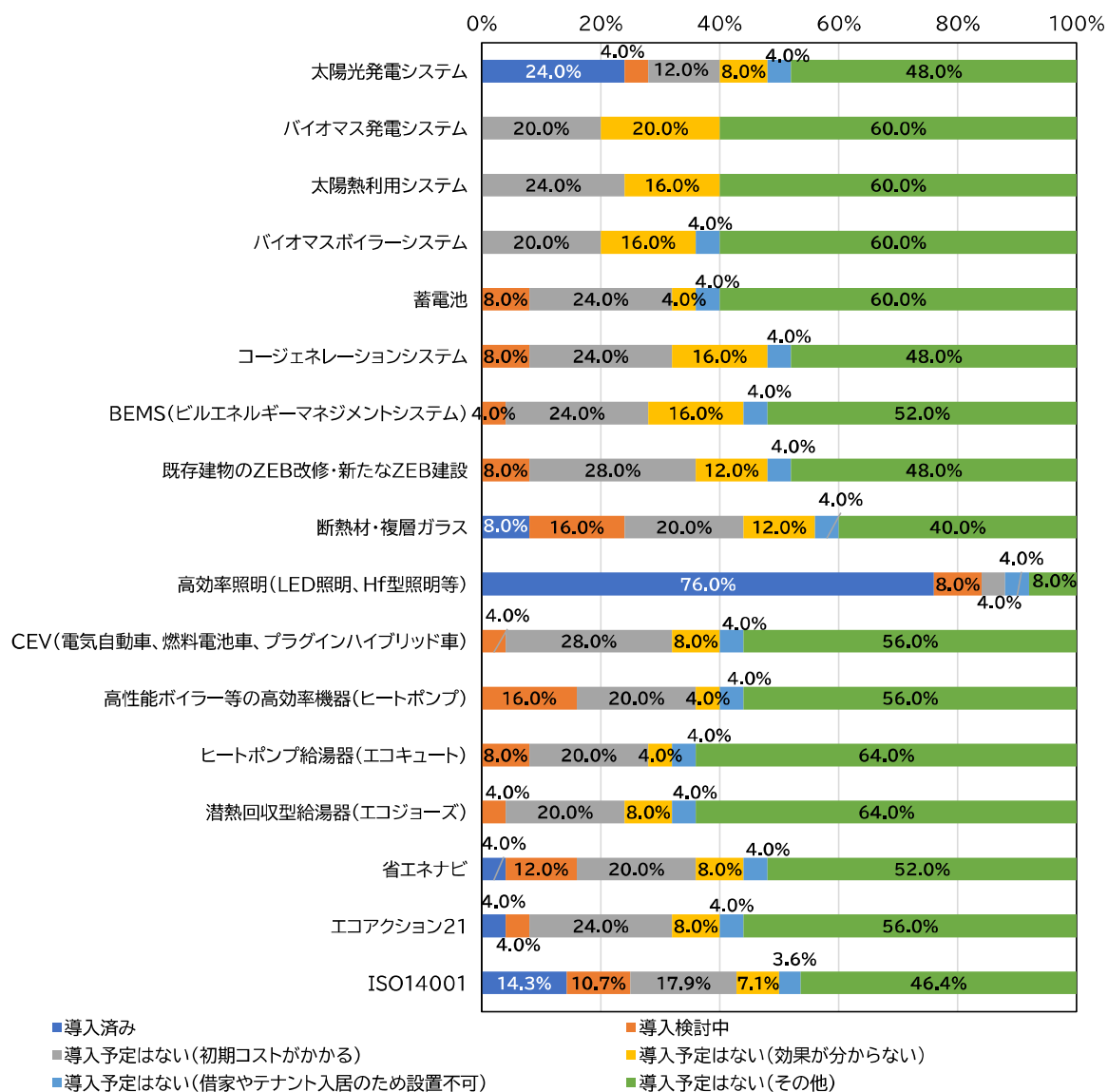
- ・2027 年までに、2024 年比4%削減
- ・2030 年までに 2013 年度比 46%削減
- ・基準年度比 0.5%ずつ削減
- ・2030 年までに 2024 年度比 42%削減
- ・2030 年までに「0」(カーボンニュートラル)

【質問4】エネルギー使用量のサンプル収集のための設問のため省略

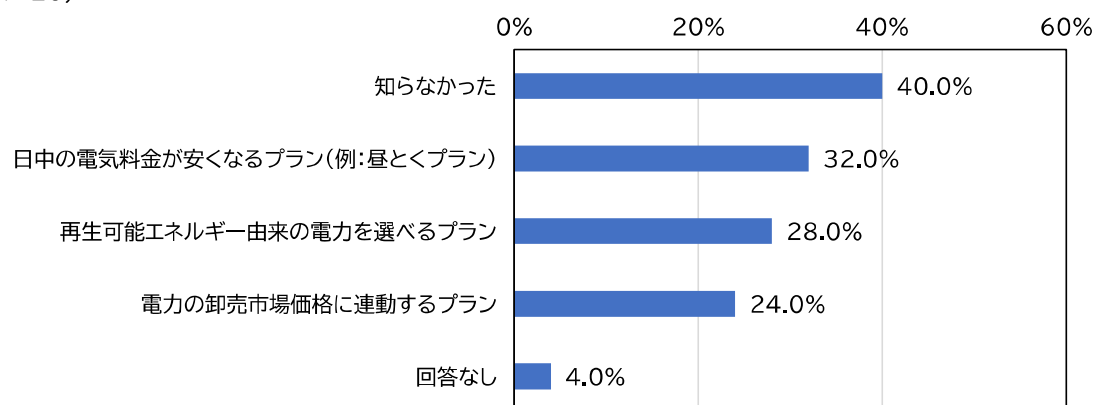
【質問5】貴事業所で実施している、あるいは今後実施する予定の地球温暖化対策はありますか。(n=25)



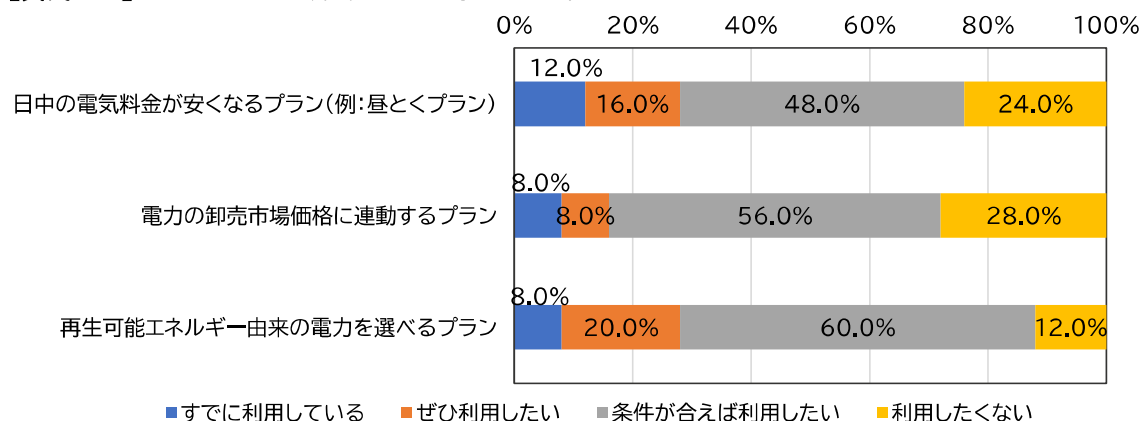
【質問6】省エネルギー及び再生可能エネルギーに係る設備、システムを導入していますか。(n=25)



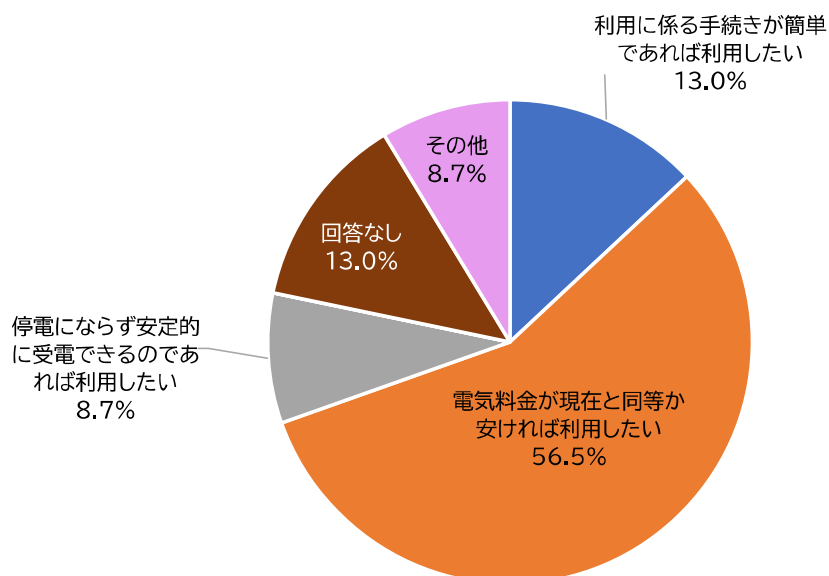
【質問7-1】現在、多くの小売電気事業者が再生可能エネルギーによって創出された電力を供給する「再エネ電気プラン」を販売しています。このような電力プランを利用したいと思いますか。(複数選択可)(n=25)



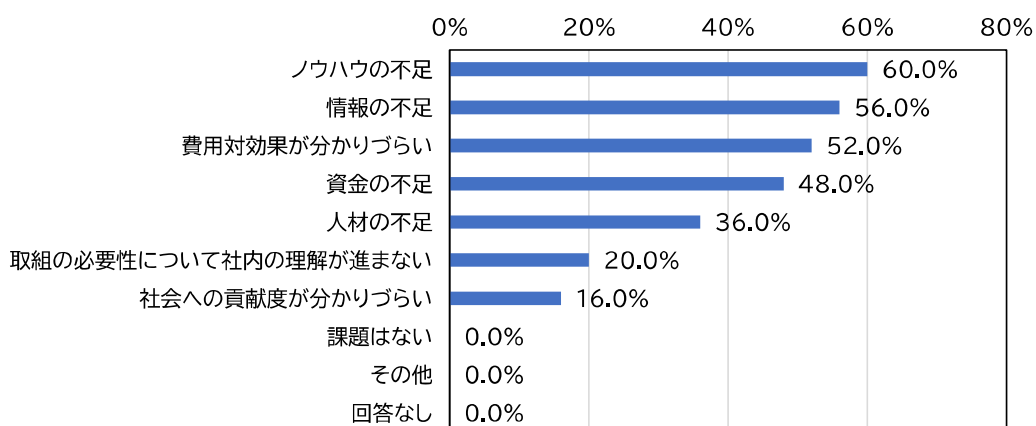
【質問7-2】上記のプランを利用したいと思いますか。



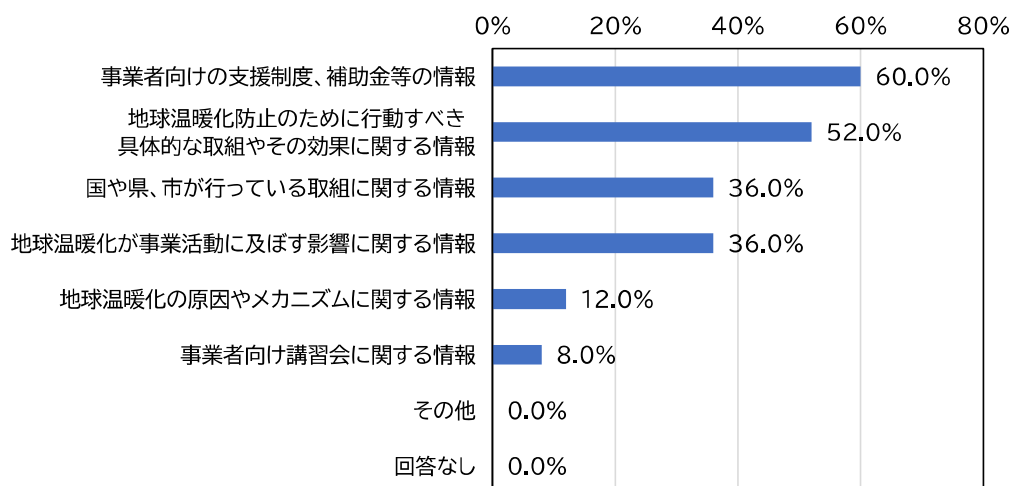
【質問7-3】どのような条件があれば利用したいと思いますか。1つお選びください。(n=23)



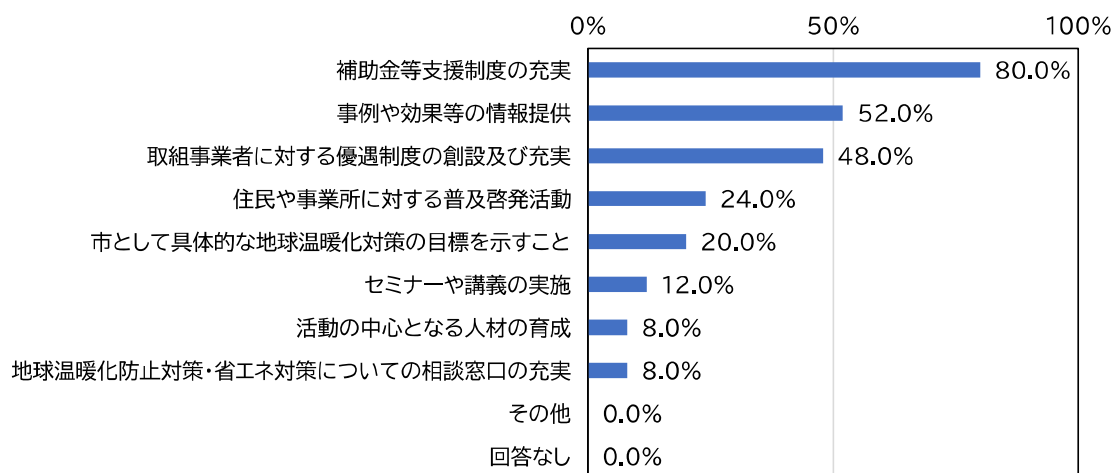
【質問8】貴事業所において、地球温暖化対策を進める上で課題となっていることは何ですか。（複数回答可）（n=23）



【質問9】貴事業所が知りたい地球温暖化対策に関する情報は何か。（複数回答可）（n=25）



【質問 10】地球温暖化対策への対応について、市に行ってほしい取組は何ですか。（3つまで回答可）（n=25）



2 用語集

あ 行

●アメダス

「Automated Meteorological Data Acquisition System」の略称で、「地域気象観測システム」を指す。雨、風、雪等の気象状況を自動的に監視・観測している。

●一酸化二窒素(N₂O)

数ある窒素酸化物の中で最も安定した物質。二酸化炭素(CO₂)やメタン(CH₄)といった他の温室効果ガスと比べて大気中の濃度は低いが、温室効果は一酸化炭素の265倍。燃料の燃焼、工業プロセス等が排出源となっている。

●溢水

川等の水があふれ出る。堤防がないところでは「溢水」、堤防のあるところでは「越水」を使う。

●営農型太陽光発電

農地に簡易な構造でかつ容易に撤去できる支柱を立て、上部空間に太陽光発電設備を設置し、営農を継続しながら発電を行うこと。作物の販売収入に加え、発電電力の自家利用等による農業経営の更なる改善が期待される。

●エコアクション21

環境省が策定した日本独自の環境マネジメントシステム(EMS)であり、一般に「PDCAサイクル」と呼ばれるパフォーマンスを継続的に改善する手法を基礎として、組織や事業者等が環境への取組を自主的に行うための方法を定めている。

●エコドライブ

温室効果ガスや大気汚染の原因物質の排出を減らすために環境に配慮した運転を行うこと。穏やかにアクセルを踏んで発進する、加速・減速の少ない運転、無駄なアイドリングをしない、燃費を把握すること等が挙げられる。

●温室効果ガス

赤外線を吸収及び再放射する性質のある気体。地表面から放射される赤外線の一部を吸収して

大気を暖め、また熱の一部を地表に向けて放射することで、地球を温室のように暖める。「地球温暖化対策の推進に関する法律」では、二酸化炭素(CO₂)、メタン(CH₄)、一酸化二窒素(N₂O)、ハイドロフルオロカーボン類(HFCs)、パーフルオロカーボン類(PFCs)、六フッ化硫黄(SF₆)、三フッ化窒素(NF₃)の7種類を温室効果ガスと定め削減対象としている。

か 行

●カーボンニュートラル

温室効果ガスの排出量と吸収量を均衡させること。「排出を全体としてゼロ」にすることを目指しており、二酸化炭素をはじめとする温室効果ガスの「排出量」から、植林、森林管理等による「吸収量」を差し引いて、合計を実質的にゼロにすることを意味する。

●活動量

一定期間における生産量、使用量、焼却量等、排出活動の規模を表す指標のこと。地球温暖化対策の推進に関する施行令(平成11年政令第143号)第3条第1項に基づき、活動量の指標が定められている。具体的には、燃料の使用に伴うCO₂の排出量を算定する場合、ガソリン等の燃料使用量[L等]が活動量になり、一般廃棄物の焼却に伴うCO₂の排出量を算定する場合は、例えばプラスチックごみ焼却量[t]が活動量になる。

●環境基本計画

環境基本法第15条に基づき、政府全体の環境の保全に関する総合的かつ長期的な施策の大綱を定めるもの。

●環境配慮型商品

環境に配慮あるいは環境保全に貢献している製品のこと。

●環境ラベル

製品やサービス等の環境的側面を購入者に伝える文言やシンボル、図形、図表等のこと。

●気候変動適応法

政府による気候変動適応計画の策定、環境大臣による気候変動影響評価の実施、国立研究開発法人国立環境研究所による気候変動への適応を推進するための業務の実施、地域気候変動適応センターによる気候変動への適応に関する情報の収集および提供等の措置を実施することが定められている。

●ぎふエコアクション

2050 年「脱炭素社会ぎふ」の実現に向けて、県民の皆様の行動変容・ライフスタイル転換を後押しするための取り組み。県内のご家庭を対象に、毎日の生活の中で取り組める省エネ行動をチェックすることで、CO2 排出削減量が見える化するサイト。

●ぎふ SDGs 推進パートナー登録制度

SDGsの達成に向けた取り組みを行っている事業者とその取り組み内容を広く情報発信することで「見える化」するとともに、県、金融機関等から様々な支援を行うことで、事業者の更なる取り組みを促進することを目的とした制度。

●京都議定書

1997 年に京都で開催された気候変動枠組条約第 3 回締約国会議(COP3)で採択された、気候変動への国際的な取組を定めた条約。

●護岸

岸を護るために作られるもので、大雨等による河川の堤防の崩壊を防いだり、高潮や津波等によって地盤や堤防が浸食されたりする事態を防ぐための工作物のこと。

●国連気候変動枠組条約第 21 回締約国会議(COP21)

平成 27(2015)年 11 月 30 日から 12 月 13 日まで、フランス・パリにおいて開催された地球温暖化対策を講じるための会議であり、協議を重ねた結果新たな法的枠組みである「パリ協定」が採択された。

●コンパクトシティ

住まい・交通・公共サービス・商業施設等の生活機能をコンパクトに集約し、効率化した都市。又は、その政策のことをいう。

さ 行

●再エネ電力共同購入プロジェクト

再エネ電力の最低価格を提示する小売電気事業者を選定できるため、より低廉な価格で再エネ電力の購入が可能となる制度。再エネ電力の購入により、設備投資などを行うことなく CO2 排出量の削減が可能となる。

●再生可能エネルギー

石油等の化石エネルギーのように枯渇する心配がなく、温室効果ガスを排出しないエネルギー。太陽光、風力、地熱、水力、バイオマス等がある。

●サステナブルファッション

衣服の生産から着用、廃棄に至るプロセスにおいて、将来にわたり持続可能であることを目指し、生態系を含む地球環境や関わる人・社会に配慮した取組のこと。

●酸化

物質が酸素と反応すること。

●産業革命

18 世紀半ばから 19 世紀にかけて起こった、生産活動の中心が「農業」から「工業」へ移ったことで生じた社会の大きな変化のこと。

●三フッ化窒素(NF₃)

常温常圧では無色、無臭の気体。有害で、助燃性がある。二酸化炭素(CO₂)、メタン(CH₄)、クロロフルオロカーボン(CFC)等とともに温室効果ガスの一つ。温室効果の強さは二酸化炭素を 1 とすると、三フッ化窒素では約 16,100 倍。

●シェアリング

モノや空間等、さまざまなサービスを個人間で共有すること。

●次世代自動車

「ハイブリッド」「電気自動車」「燃料電池車」「天然ガス自動車」の 4 種類を指しており、環境に考慮し、二酸化炭素の排出を抑えた設計の自動車のこと。